

あまから手帖 2026 年 4 月号 「喫茶去。」 を 3 月 23 日、発売いたします

2026 年 3 月



Daigas グループのクリエテ関西が、あまから手帖 2026 年 4 月号「喫茶去(きっさこ)」を 3 月 23 日、発売いたします。

本誌初となる喫茶特集。昭和と令和をつなぐ普遍的な存在は、なぜ人を呼ぶのでしょうか。珈琲特集では掲載することのなかった、紅茶のおいしい喫茶店。写真家・佐内正史さんが写す美しき調度。作家・くどうれいんさんが綴る喫茶での思い出ばなし。中学生男子の部屋を再現した、和歌山の夜喫茶。喫茶店の水に感じる浪漫——。おいしいだけじゃない、喫茶のすべてを、さまざまな角度からご紹介します。

また、近年では古き良き喫茶の味、調度、文化を遺そうと、閉店する店を次代へ繋ぐ活動も盛んです。意外な縁と継承の物語「時をかける喫茶」。大阪最古の喫茶「平岡珈琲店」の最後と門出を見届けた、「喫茶は続くよどこまでも フェーズ 2」など、喫茶の明るい未来を取り上げたコーナーもお楽しみに。

4 月号片手に、さあ茶でもいかがですか。

<特集構成>

- 調度いい。
- コーヒーと選択
- 茶を喫するかたち。
- 神戸「ジャズ喫茶」漂流記
- 続・喫茶店の水
- 紅茶のおいしい喫茶店

- 喫茶メシの流儀。
- 甘い生活。
- 時をかける喫茶
- 喫茶は続くよどこまでも フェーズ2 など

<連載>

- 作家・町田 康の「食にかまけず」
- 写真家・長野陽一の「あま、から」
- 料理研究家・冷水希三子の「からから料理帖」
- マスターソムリエ・岡 昌治の「日本ワイン、ようわからん」
- フードコラムニスト・門上武司の「関西『揚げもん』研究所」
- ミルクボーイ・駒場 孝の「こまから手帖」
- 作詞家・松本隆の「びゅーちふる・でい」

ほか

<媒体概要>

「あまから手帖」は関西の食文化・情報を伝える雑誌として 30 代後半～50 代の方を中心に  
にご好評いただいております。

誌名：あまから手帖 発売日：毎月 23 日

販売方法：書店・駅売店・コンビニエンスストア（一部）

販売地域：関西全域および全国の主要都市（一部） 価格：990 円（予価）

※本誌に関するお問合せは下記までお願いできましたら幸いです。

※各種取材、メディア出演にもご対応致します。